

橋町の見どころ

まちの歴史シリーズ ③③

橋町HP <https://tachibana-net.jp> **歴史・史跡** クリック

発行：橋町まちづくり推進協議会
ふるさと部会
発行日：令和7年3月1日
責任者：國平 安治
原稿作：宮下 正博
事務局：橋公民館 22-3884

今月号の案内者は

南片白区長 ^{くちょう とりこえ} 鳥越 ^{ゆういち} 祐市さん

★印番号の解説

★①橋公長の先祖

こいからしばらくは
橋町の祖、^{きんなり}公業さん
が鎌倉幕府で活躍
すッ話バイ。



公業さんが、まだ橋には、^{きとんし}来とんし
^{とき}やれん時の話。今号は、
^{たちばなおやこ}**橋 親子のプロフィール**
タップ君とミサエちゃんよろしく。

ワシの先祖については 2
つの説があつてのう。
一つは ^{ふじはらすみとも}藤原純友という
海賊を退治したことで
有名な ^{きよとく}橋 遠保の末裔
注1) とするものじゃ。

では、お父さん
自己紹介よろしくね



注1 橋氏の系図ではこっちの方

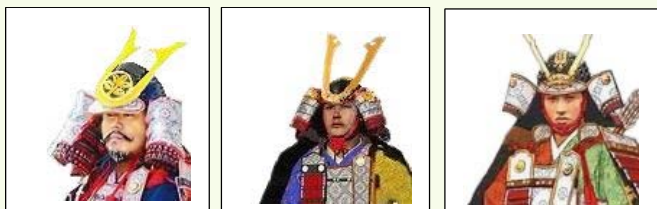
これまでのあらすじ
前号から橋町の主人公、**公業登場!!**
・時は今から845年前
・源平合戦が始まった。(1180年)
・公業の父、公長が、息子2人とともに
鎌倉の頼朝のもとに駆け付けたところまで…

もう一つは ^{たちばなよしひる}橋 好古という貴族を租とする説じゃ。
武雄市史などでは、こっちがほんとうで、^{でんしょう}伝承し
ていくにまちがったのではと、考えられているの
う。ワッハッハ。

ワシは ^{たちばな}橋 には行けなかったんじゃが、
兜には ^{かぶと}橋 の家紋をつけておる。ワシを
こんなにえらそうに描いてくれた作者に
礼を言いたいくらいじゃ。ワッハッハ。
これから ^{しばら}暫く、息子共々、^{むすことども}世話になるぞ。



●これからしばらく登場する人を
紹介するね



父親の公長さん 兄の公忠さん 弟の公業さん

- まずは、お父さんの ^{きみなが}公長さん
 - ・生年月日も死亡日も不明なんだ
 - ・ご先祖様についても2つの説★①があるヨ
- お兄さんの ^{きみただ}公忠★②さん
 - ・源平合戦頃までの活躍で、^{あすまかがみ}吾妻鑑でもあまり出番がないんだ。
- 弟の ^{きんなり}公業さんが、1237年になって橋にやっ
て来たんだよ。

★②橋公忠

つぎは、お兄さん

私は公忠と申す。ゆえあって、
弟より早く亡くなることにな
ってしまった。
だからか？ この作者は、
私が遠くを見つめているように
描いてくれたようだ。
ワケは、いずれ分るであろう。



前号では、頼朝さんにいち早く味方したんだっただわね。そのあと、どんな活躍をしたのかしら。



吾妻鑑には、32回以上登場するよ。回数は、いま調べている所だけど、それ以上になるかも

注①ゆかりに武雄芳輔さんが投稿されたものには28回登場。解説はこっちが詳しい。



へえ～ 多いのねえ
おもしろい場面を教えてくださいな

先月号で紹介（鎌倉到着&弓試し）したのは、吾妻鑑登場の①回目と②回目。ぜ～んぶ話していたら、何年もかかっちゃうね。頼朝さん、ヤクルトの宣伝ばかりせずに、代表的なエピソードを紹介してよ。

●エピソード1 公業に先陣を任せる

NHK 大河ではお世話になった大泉です。私は「公業どの、平家は、一ノ谷合戦に敗れて九州に逃げやがった。

みんなで、九州の平家を攻めるので、君は、先陣として讃岐の武士団を率いて、平家を攻めてくれたまえ。」と言ったネ

僕は、ヤクルトは持って行かないけどね

「ハハッ！ 殿。
わかり申した。では、さっそく讃岐へまいりましょう。」



頼朝さん、公業さんはうまくやれたのかしら？



それがのう。彼はその頃、まだ19歳なんじゃが、うまくやり終えてのう。讃岐御家人を源氏に味方させ、先陣で戦ったんじゃ。この時、彼が出した書類には14名の御家人の名が書かれている。若いが、たいしたもんじゃ。

注②父公長の生没年は不詳（ウィキペディア）ですが、当時の元服年齢から推定して、「次男公業が15歳（12～16頃が適齢）、兄17歳、父37歳の時に参戦した」と仮定して以後の記事の中の年齢を算出しています。

注③名簿の中に、橘大夫盛資の名があります。彼は現在の香川県綾歌郡綾川町の武士です。橘氏は宇和島が根拠地でした、他の四国にも血縁があったのかも知れません。

皆も知ってのとおり、私の弟、義経が平家を屋島に追って、平家は壇ノ浦の海に沈んでしまったねエ。わが軍の大勝利。メデタシ、メデタシ旗揚げから壇ノ浦までの合戦は、大変面白いから、別の本で読んでくれたまえ。

お父さんやお兄さんは？



●エピソード2 公長に敵大将を処刑させる

1180年に拳兵してから5年。やっと平家が滅亡した。うまくいったもんだ。だが、平家の連中にもまだ生き残ってる者がおる。大将の宗盛や弟の重衡たちだ。そこで、僕は公長に「宗盛らを京へ護送せよ。そして途中で処刑せよ」と命令したネ。

「ハハッ！ 殿。」
ワシは、そう言うしかなかった。宗盛殿は、ワシを見込んで弟に付けてくれた。そんな人を、殺すのはしのびなかった。殿は、平家方だったワシらを試したんだと思ってる。



NHK ドラマ「鎌倉殿の13人」では宗盛役は小泉孝太郎さんでしたね。

※今月号の出典はすべて吾妻鑑（鎌倉時代の歴史書）です。役者さんと公長 親子は宮下が加工しました。

今回ご紹介した時代は『平安時代末期』でした